クイズ3　九九表の かけら

ルール

かけらの 数から、九九表の どこの かけらかを 見つけよう。どの かけらも、あう 場所は 1つだけ。
使う ちしき：九九表の きまり（だんの 数ずつ ふえる）

★★☆
目安 15分

1 九九表が やぶれて、かけらに なりました。あいて いる ますに 数を 書きましょう。

(1)

21	28	35

(2)

16
24
32

(3)

15	18
20	24

(4)

36	42	48
42	49	56

(1) 21 から 35 まで 右へ 2ます。ここが 7の だんなら 7×3＝21、7×5＝35 で あう。まん中は 7×4＝28。7ずつ ふえて いる（21、28、35）。

(2) 16 から 2ます 下で 32。2ます で 16 ふえたので、1ます で 8 ふえる。たてに 8ずつ ふえるのは かける数が 8 の れつ。2×8＝16、4×8＝32、まん中は 3×8＝24。

(3) 18 と 20 が ななめ。3の だんで 3×6＝18、4の だんで 4×5＝20 なら あう。左上は 3×5＝15、右下は 4×6＝24。

(4) 36 は 4×9・6×6・9×4 で 出る。1だん 下で 2ます 右が 56 に なるのは 6×6 の ときだけ（7×8＝56）。上の だんは 6の だんで 6×7＝42、6×8＝48。下の だんは 7の だんで 7×6＝42、7×7＝49。

2 (1)の かけらは、何の だんですか。

答え [7] の だん

21 から 2ます 右で 35。2ます で 14 ふえて いるので、1ます で 7 ふえる。7ずつ ふえるのは 7の だん。28 を 入れると 21、28、35 と 7ずつ ふえて いる。

答えを 見たら、もう いちど やってみよう。　赤い 字が 答え。